./　　作成年月日：令和　6　年　4　月　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　社会	科目　地理総合	単位数　２単位	対象学年組　第１学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　佐々木	２組　内野	３組　内野	４組　佐々木	５組　内野
使用教科書	高等学校　新地理総合 (帝国書院)			
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。			

【 知識及び技能 】	（1）現代世界の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	（2）地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	（3）地理や歴史に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の多様性、地域や地球規模の課題への取り組みを理解し、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。	地理に関する諸事象に関して、主体的に探究しようとする態度を養うとともに，地理に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 結びつきを深める現代世界 【知】日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思】世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】現代世界の地域構成について，課題を主体的に追究，解決しようとする。	●指導事項 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	・日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 ・世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界の地域構成について，課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	10
	中間考査						
	B 世界の気候と人々の生活 【知】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて理解する。 【思】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとする態度を養う。	●指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気大循環と人々の生活 ・世界の植生と気候区分 ・熱帯と人々の生活 ・乾燥帯と人々の生活 ・温帯と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯と人々の生活	・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて理解している。 ・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	1 学期期末考査						
2学期	C　世界の言語・宗教と人々の生活 【知】言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて理解する。 【思】言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わり	●指導事項 ・世界の言語と人々の生活文化 ・世界の宗教と人々の生活 ・イスラームを中心とした生活文化 ・乾燥地帯でクラスムスリムの生活 ・変化するムスリムの生活 ・インドの歩みとヒンドゥー教 ・宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活	・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて理解している。 ・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとしている。	○	○		12

	について多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】言語・宗教と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとする態度を養う。	・変化するヒンドゥー教の生活		1		○	
	中間考査						
	D 地球的課題と国際協力 【知】地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思】世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】地球的課題と国際協力について，主体的に追究しようとする態度を養う。	●指導事項 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題	・地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ・世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，多面的・多角的に考察し，表現しようとしている。 ・地球的課題と国際協力について，主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	期末考査						
3学期	E 自然環境と防災 【知】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思】地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】自然環境と防災について，主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	●指導事項 ・日本の自然環境 ・地震・津波と防災	・地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自然環境と防災について，主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	16
	学年末考査						

./　　作成年月日：令和　6　　年　　4　月　　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　社会	科目　歴史総合	単位数　２単位	対象学年組　第１学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　内野	２組　内野	３組　内野	４組　内野	５組　内野
使用教科書	歴史総合 (実教出版)				
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	（1）現代世界の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	（2）地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	（3）地理や歴史に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する情報を適切に調べる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追及し解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 欧米の市民革命と『西洋の衝撃』 【知】18 世紀のヨーロッパやアメリカ大陸における政治，各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に,世界の経済と社会を理解する。 【思】18 世紀のヨーロッパやアメリカ大陸のできごとや影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，主体的に追求する。	●指導事項 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	・18 世紀のヨーロッパやアメリカ大陸における政治，各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に,世界の経済と社会を理解している。 ・18 世紀のヨーロッパやアメリカ大陸のできごとや影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，主体的に追求，解決しようとしている。	○	○	○	10
	中間考査						
	B 欧米諸国と日本の国民国家形成 【知】19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解する。 【思】19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して，日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について，主体的に追求する。	●指導事項 ・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸外国 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本国憲法	・19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 ・19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して，日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について，主体的に追求しようとしている。	○	○	○	12
	1 学期期末考査						
2学期	C 帝国主義の時代 【知】19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き，日本と東アジアの関係を理解する。 【思】19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して多面的・多角的に考察し，表現する。	●指導事項 ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動	・19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き，日本と東アジアの関係を理解している。 ・19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 ・帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，主体的に追求，解決しようとしている。	○	○	○	12

	【学】帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，主体的に追求する。						
	2 学期中間考査						
	D 第一次世界大戦と大衆社会 【知】第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 【思】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，主体的に追求する。	●指導事項 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・第一次世界大戦後の欧米諸国	・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，主体的に追求，解決しようとしている。	○	○	○	16
	期末考査						
3学期	E 経済危機と第二次世界大戦 【知】第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【思】各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化について，主体的に追求する。	●指導事項 ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発と終結 ・日本占領と日本国憲法	・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化について，主体的に追求，解決しようとしている。	○	○	○	16
	学年末考査						

./　　作成年月日：令和　6　　年　　4　月　　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　社会	科目　日本史探究	単位数　２単位	対象学年組　第１学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　永田	２組　永田	３組　永田	４組　永田	５組　永田
使用教科書	精選日本史探求(実教出版)				
教科の目標	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	（1）日本の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	（2）日本の歴史に関する諸事象の意味や意義について、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	（3）日本の歴史に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する情報を適切に調べる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追及し解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	●幕府の諸改革 【知】幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解する。 【思】幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現する。 【主】幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返る。	●指導事項 ・幕府政治の転換 ・徳川吉宗と田沼意次の財政問題 ・寛政の改革	・幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 ・幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・幕府政治の動揺と諸藩の動向，飢饉や一揆の発生，近世の庶民の生活と文化の特色，近代化の基盤の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	6
	●大日本帝国の展開 【知】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を，複数の史・資料を活用し十分に理解する。 【思】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容に対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現する。 【主】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形	●指導事項 ・明治維新 ・富国強兵 ・自由民権運動 ・日清戦争	・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容に対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化，それにともなう対外政策の変容と開国，幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識、立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容に対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	10

	成，アジアや欧米諸国との関係の変容に対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返る。						
	1 学期期末考査						
2学期	●大正デモクラシー・世界恐慌 【知】大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解する。 【思】大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現する。 【主】大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返る。	●指導事項 ・大正デモクラシー ・第一次世界大戦 ・普通選挙と治安維持法 ・世界恐慌	・大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 ・大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・大正から昭和初期における政党政治，大衆社会の形成，恐慌と国際関係に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	6
	●アジアの戦争と第二次世界大戦 【知】第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解する。 【思】第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現する。 【主】第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返る。	●指導事項 ・満州事変 ・日中戦争 ・アジア太平洋戦争	・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 ・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	10
	期末考査						
3学期	●現代日本社会の形成 【知】第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解する。 【思】第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現する。 【主】第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善する。	●指導事項 ・日本の占領 ・日本国憲法 ・朝鮮戦争 ・日米安保体制と 55 年体制	・第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 ・第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 ・第二次世界大戦後の日本の再出発，その後の政治・社会の展開，それにともなう国民生活の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	○	○	○	6
	学年末考査						

./　　作成年月日：令和　6　年　4　月　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 ２学年 年間授業計画

教科　社会	科目　公共	単位数　２単位	対象学年組　第２学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　佐々木	２組　佐々木	３組　佐々木	４組　佐々木	５組　佐々木
使用教科書	公共 (数研出版)				
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	(1) 選択･判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的･多角的に考察しようとする力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し，資料から，倫理的主体として活動するための情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の課題解決に向けて，選択･判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 公共的な空間をつくる私たち 【知】青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。自分たちが生きる社会が，様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 【思】自己形成の課題について考察できている。様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 【学】自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。	●指導事項 ・大人ってどんな人？ ・お互いを理解し尊重するために ・誰もが生きやすい社会へ	・自分たちが生きる社会が，様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	○	○	○	10
	中間考査						
	B 公共的な空間における基本原理 【知】人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由･権利と責任･義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 【思】国家の基本的原理を考察することによって，個人と社会との関わりを多面的･多角的に考察することができている 【学】民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	●指導事項 ・民主社会の基本原理 ・日本社会の基本原理	・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○	○	○	12
	1 学期期末考査						
2学期	C ルールをつくり守る私たち 【知】法や規範の意義や役割が理解できている。	●指導事項 ・法と契約 ・司法参加の意義 ・政治参加と民主政治の課題	・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げることができる。公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることが理解できている。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察	○	○		12

	【思】日常の買い物や銀行のクレジットカードなど，身近な契約の例を挙げることができる。 【学】裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。		できている。 ・身近な紛争状況を設定し，それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。			○	
	2 学期中間考査						
	D 政治に参加する私たち 【知】地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。国際政治の枠組みを理解している。 【思】・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。また自分が理想とする選挙制度を選択することができる。国際政治の各国の立場の違いを考察できている。 【学】模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。国際社会での日本の役割を主体的に研究する。	●指導事項 ・政治参加と民主政治の課題 ・国際政治の動向 ・国際政治の課題と日本の役割	・日々報道される日本・世界の政治的出来事に関心が持てている。また、それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。国連の現状と課題について考察できている。 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を認識し、核軍拡から核軍縮への流れを考察し、現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。	○	○		16
	期末考査						
3学期	E　経済活動を行う私たち 【知】現代の企業の果たしている役割が理解できている。市場経済のメカニズムが理解できている。 【思】現代の企業倫理について考察できている。需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 【学】AI や IT などの先端技術が発展するなかで，自分の進路や職業選択を考えることができている。日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てている。	●指導事項 ・経済のしくみと産業の変化 ・市場経済のしくみと金融 ・財政と社会保障 ・国際経済の動向と課題	・経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しがたてられている。産業構造の変化と職業選択との関係や，雇用・労働問題について理解できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断できている。経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。格差のある国際社会で，その克服のために自らがどのようなことができるか考え，実行しようという意欲を持つことができている。	○	○	○	16
	学年末考査						

./	作成年月日：令和　6　年　4　月　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 １学年 年間授業計画

教科　社会	科目　地理探究	単位数　２単位	対象学年組　第３学年１組 ～5 組

組教科担当	１組　内野	２組　内野	３組　内野	４組　内野	５組　内野
使用教科書	新詳　地理探究 (帝国書院)				
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	（1）現代世界の地域的特色や日本及び世界の地理的事象について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	（2）地理に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	（3）地理に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の多様性、地域や地球規模の課題への取り組みを理解し、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。	地理に関する諸事象に関して、主体的に探究しようとする態度を養うとともに，地理に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	●自然環境　地形 【知】大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解する。 【思】大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	●指導事項 ・地形の成因と地球表面の起伏 ・大地形 ・河川流域と海岸にみられる小地形 ・その他の小地形	・大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 ・大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	●自然環境　気候 【知】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解する。 【思】気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	●指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気大循環と人々の生活 ・世界の植生と気候区分 ・熱帯と人々の生活 ・乾燥帯と人々の生活 ・温帯と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯と人々の生活	・気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 ・気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	１学期期末考査						

	●日本の自然環境 【知】日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて理解する。 【思】日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学】日本の自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	●指導事項 ・日本の地形 ・日本の気候 ・災害と防災・減災への取り組み	・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 ・日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
2学期	●資源と産業　農林水産業 【知】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 【思】自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主】農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	●指導事項 ・発達と分布 ・地域区分 ・世界の農業 ・日本の農業	・自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 ・自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	●資源と産業　工業 【知】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解する。 【思】さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多	●指導事項 ・工業の発達と種類 ・立地 ・世界の工業地域 ・日本の工業	・さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解している。 ・さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4

	面的・多角的に考察し，表現する。 【主】工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。						
	学年末考査						
	●現代世界の諸地域 【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。 【思】現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【主】現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	●指導事項 ・地誌的な考察方法 ・各地域の考察	・いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 ・現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	
3学期	学年末考査						

./					作成年月日：令和　6　年　4　月　1　日
総合工科高等学校 令和６年度 ３学年 年間授業計画					
教科　社会	科目　倫理		単位数　２単位	対象学年組　第３学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　佐々木	２組　佐々木	３組　佐々木	４組　佐々木	５組　佐々木
使用教科書	新倫理 (清水書院)				
教科の目標	１、人間としての在り方、国際社会に生きる日本人としての自覚を持つ。２自然や科学技術、社会と文化に関わる諸課題に取り組む。				

【 知識及び技能 】	(1) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理に関わる現代の諸課題について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察しようとする力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 様々な体験や思索の機会を通して自らの考えを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し，資料から，倫理的主体として活動するための情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の課題解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 現代を生きる私たち B 人間としての自覚 【知】人間観に関するさまざまな概念を理解し、説明することができる。 【思】人間存在への問いから現代の諸課題を解決する手がかりを 考察する。 【学】人間としての在り方生き 方に関わる事象や課題 について主体的に追究する。	●指導事項 ・個性的な主体としての自己 ・心と行動をめぐる探求 ・哲学の始原 ・唯一神の宗教	・パーソナリティに関するさまざま な理論を理解し、個性や人間の 行動を多面的・多角的に説明することができる。 ・個性や行動の原因に関する心理学的な知見から、人間存 在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考 察を深め、適切に表現することができる。 ・パーソナリティに関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	中間考査						
	C 人間としての自覚 【知】世界宗教としての仏教の知見を手掛かりに、幸福、 愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 【思】仏教の人間観や人生観を理解し、生の苦悩とその克 服といった課題を、自己の課題と重ね合わせて学ぶ 【学】仏教の生命あるもの全てに対する慈悲の教えを通し て、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察する。	●指導事項 ・東洋思想の源流：仏教・儒教	・仏教、儒教、道家の思想の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 ・論語』『孟子』など原典資料の読解を通して、人間としての よりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。また、性善説や性悪説といった対立する視点から現代の様々な課題を考察する。 ・仏教や儒教における倫理に関する諸概念の学習を通して、人間について深い洞察をおこない、また共感的理解の重要性について理解しようとしている。	○	○	○	12
	1 学期期末考査						
2学期	D 近代の成立 E 世界と人間をめぐる探究 【知】近代科学の思考法、ベーコンの 経験論やデカルトの合理論に関する基本的な知識を身に付けている。それらの思想家の原典資料を適切に読み取る。 【思】自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの大	●指導事項 ・人間の尊厳 ・真理の認識－経験論と合理論 ・民主社会と倫理	・近代科学の思考法、ベーコンの経験論やデカルトの合理論に関する基本的な知識を身に付けている。それらの思想家の原典資料を適切に読み取ることができる。 ・民主社会と個人の関係、個人と国家や法との関係について考察し、民主社会の発展のために何をすればよいかという思索を深め、適切に表現できる。 ・自ら社会を形成する主体であることを自覚し、自己や社会全体の幸福の実現に積極的に参加しようとする態度を身につけようとしている。	○	○	○	12

	切さを理解し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察する。 【学】民主社会と人間の在り方や人間の尊厳、自己実現と幸福を論じた近代の諸思想を通して、善、正義、義務に着目して、自己の価値観を確立するとともに他者の価値観を尊重することの大切さを理解し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について考察する。						
	2 学期中間考査						
	F　日本の風土と精神文化 【知】日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人の心情や考え方と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人としての自己意識と結び付けて、理解する。 【思】外来思想である仏教を、日本独自の受容やその思想の形成と発展を通して、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを考える。 【学】近世庶民の思想や幕末の思想が、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしたかを主体的に考察する。	●指導事項 ・日本人の人間観・自然観・宗教観 ・日本人の仏教受容 ・近世社会の思想	・日本人の死生観、善悪についての道徳観、自然への感じ方を、原典資料や芸術作品を通して、 適切に読み取り、理解すること ができる。 ・古代の日本人の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる 日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に 考察し、適切に表現できる。 ・日本の先哲の学習を通して、国際社会に生きる日本本人としての自覚を深めるとともに、課題を追究したり解決に向けて構想したりしている。	○	○		16
	期末考査						
3学期	G 日本の近代化と人々の生き方 H 社会や文化にかかわる諸課題 【知】西洋文化を摂取し、新しい文化や思想を形成した思想家たちを通して、現代を生きる日本人の思想形成に どのような影響を与えているかを理解する。 【思】日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、民俗学の知見を手掛かりに、日本人としての自己意識と結び付けて考える。 【学】先哲を含む他者との対話を通して、生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断 して構想し、自分の考えを説明、論述する。	●指導事項 ・西洋近代精神の摂取 ・近代的個人の自覚 ・自然や科学技術をめぐる諸課題	・西洋文化を摂取し新しい文化や思想を形成した思想家の基本的な知識を、原典資料を適切に読み取り、説明することができる。 ・西洋の思想や文化を受容する際の課題意識を自己の課題と結び付けて考える視点を働かせることを通して、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 ・国際社会における日本 人としての在り方生き方の自覚を深めることで、日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	○	○	○	16
	学年末考査						

./　　作成年月日：令和　6　年　4　月　1　日

総合工科高等学校 令和６年度 ３学年 年間授業計画

教科　社会	科目　政治経済	単位数　２単位	対象学年組　第２学年１組 ～5 組	
組教科担当	１組　佐々木	２組　佐々木	３組　佐々木	４組　佐々木	５組　佐々木
使用教科書	公共 (数研出版)				
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				

【 知識及び技能 】	（1）選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	（2）現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察しようとする力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】	（3）国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について，基礎的基本的な知識を身につけ，理解を深めている。 ・諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。	現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現できている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目･内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1学期	A 現代政治のしくみと日本（1） 【知】法は社会規範の一つであり，国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。 【思】 ・個人の尊厳，自由，平等などの社会的価値について考察する。 【学】社会の変化に応じて求められる新しい人権について積極的に学ぶ姿勢を持っている。	●指導事項 ・政治・法とはなにか ・現代民主政治へのあゆみと基本原理 ・日本国憲法の成立と基本原理 ・基本的人権と新しい人権	・基本的人権の保障と法の支配について現実社会の諸事情を通して理解している。 ・現代の政治，民主政治の本質，日本国憲法の制定過程および基本原理について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・現代の政治について関心をもち，抱える課題を解決しようとしている。 日本国憲法の制定過程および基本原理について関心をもち，抱える課題について解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	10
	中間考査						
	B 現代政治のしくみと日本(2) C 現代経済のしくみと日本 【知】政党政治や選挙などの観点から，望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方，世論の形成について理解している。 【思】現代日本の統治機構について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【学】経済のはたらきとしくみについて関心をもち，実際の社会の役割を理解しようとしている。	●指導事項 ・地方自治 ・経済活動と経済主体 ・市場経済の機能と限界 ・国民経済と景気変動	・地方自治について現実社会の諸事情を通して理解している。 ・市場経済の機能と限界について，その基本となる理論や現実経済のしくみなどを踏まえたうえで，経済的な数値，資料をもとに，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・経済の変化を成長と循環で捉えることについて関心をもち，抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	12
	1 学期期末考査						
2学期	D 現代経済のしくみと日本 【知】分業と交換に基づき，生産や消費について，どのような社会でも経済的選択の問題を解決しなければならないことを理解する。	●指導事項 ・物価とその変動 ・金融のしくみとはたらき ・財政のしくみとはたらき ・日本経済のあゆみ	・財政のはたらきとしくみ及び租税などの意義，金融のはたらきとしくみについて現実社会の諸事情を通して理解している。 ・持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	○	○		12

	【思】家計，企業，政府が現代の経済における主要な経済主体であり，これら経済主体間の相互関係が国民経済を構成していることを理解する。 【学】財政を国家財政と地方財政の双方から把握し，両者の役割分担や連携の在り方について考える。		・第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて関心をもち，その歴史的な経緯を理解しようとしている			○	
	2 学期中間考査						
	E 現代日本の諸課題 【知】地域社会の特徴と課題を理解し，課題解決に向けて地域社会が取り組むべきことと中央政府が果たすべき役割を考察し政策を提言する。 【思】雇用の変化や労働時間の変化ワークライフバランスについての特徴と課題を理解し，課題解決に向けた政策を提言する 【学】財政の特徴と課題を理解し，持続可能な財政の実現に向けた政策を提言する。	●指導事項 ・地域社会の自立と中央政府の役割とはなにか？ ・持続可能な社会保障制度は実現できるか？ ・多様な働き方ができる社会とはどのような社会か？ ・安全・安心な社会を実現するには？ ・歳入・歳出両面での財政健全化とは？	・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて理解している。 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，日本社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取組などを参考に多面的・多角的に考察し，表現している。 ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて関心をもち，それぞれが抱える課題を解決するべく学習に臨もうとしている。	○	○		16
	期末考査						
3学期	F 現代の国際社会と政治 現代の国際社会と経済 【知】今日の国際社会の課題は，従来の政治や経済の枠組みをこえたものが多く，しかも複雑化していることを理解した上で，リスクある社会について理解する。 【思】イノベーションがこれまで社会をどのように変化させてきたかを理解し，現在直面している世界の変化をどのようなイノベーションがどのような方向に向かわせるかを考える。 【学】国際経済の安定のために日本が果たすべき役割にはどのようなものがあるのかを考察する。	●指導事項 ・グローバル化する世界のリスクとはなにか？ ・国際経済格差の是正に国際社会はどう取り組むか？ ・技術革新は世界をどう変えたか？ ・国際経済のしくみ ・国際収支と為替 ・グローバル化と国際経済	・国際社会の動向に着目し，国際社会の課題として指摘されるグローバル化に伴うリスク，難民問題，国際経済格差，イノベーション，資源・エネルギー問題について，現実社会の諸事象を通して知識を獲得，理解している ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際経済格差の是正と国際協力，イノベーションと成長市場，人種・民族問題や地域紛争の解決に向けて自分の考えを説明，論述している。 ・貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について関心をもち，それぞれを理解しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	16
	学年末考査						